

## 事前に出された意見と市の考え方

委員	項目	意見（そう考える理由等）	市の考え
安藤委員	青堀保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R5.3.1 現在より未満児定員が減少しているが、今後、待機・保留児童が発生した場合は、定員を増やしてほしい。</li> <li>・ 3 歳以上児は数名定員が増えてはいるが、需要があるなら同様に思う（全体で 200 名だったときもあるため）。</li> </ul>	<p>利用定員数については、純真福祉会から、今後、保育士を確保し、増やしていきたいとの考えを聞いています。</p> <p>市としても、保育士が働きやすい環境整備や、保育環境向上への取組を行う私立保育園を支援してまいります。</p>
安藤委員	明澄幼稚園	<p>認定こども園になり、「育休明けに入園させたい」という声を聞いた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料 1-2 及び 1-3 の「保育を必要とする子どもの数」「保育を必要とする子ども以外の子どもの数」と利用定員の内訳は入園希望者の人数と同じか、それ以上の数なのでしょうか。</li> <li>・ 市外からの利用が多い園なので、入園希望者が増えた場合、定員を増やすことが可能なら増やしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認定区分（1 号～3 号）における年齢別では、入園希望者数が利用定員数を上回っている年齢もあります。年齢区分においては、入園希望者数は利用定員数の範囲内となっています。</li> <li>・ 利用定員増の見直しについては、1 号認定子どもが連続する過去 2 年間、2・3 号認定子どもが過去 5 年間常に利用定員を超過しており、かつ、各年度の年間平均在所率 120% 以上の場合に行う必要があります。受入体制によるところもありますが、今後の入園希望者数の状況により、必要に応じて事業者と検討してまいります。</li> </ul>